

## 1.1 クイックガイド

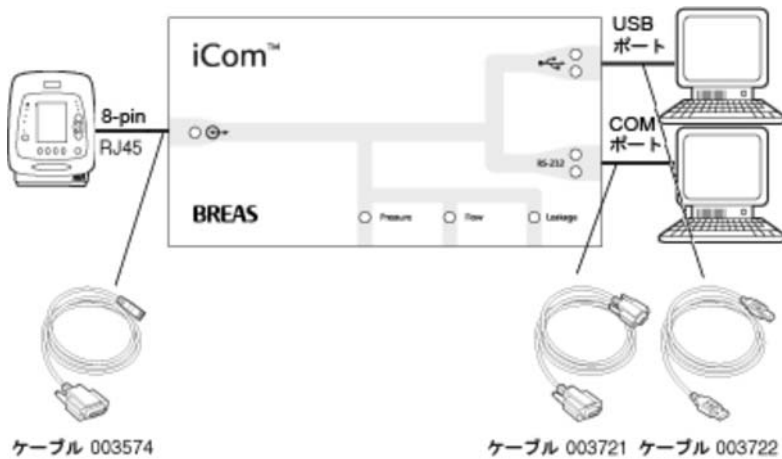
VIVO 30/40 PCソフトウェアは、Breas VIVO 30/40 の操作や患者の治療のフォローアップをするためのツールです。

VIVO 30/40ソフトウェアを使うには、ケーブルでPCをVIVO 30/40に接続、またはCompactFlashカードを使用してログや設定を転送します。

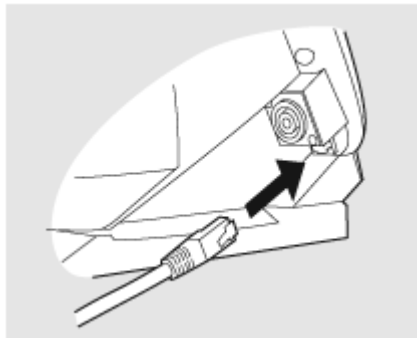
PCとVIVO 30/40をケーブルで接続する。

PCとVIVO 30/40を接続するには、Breas iComと適切なケーブルが必要です。

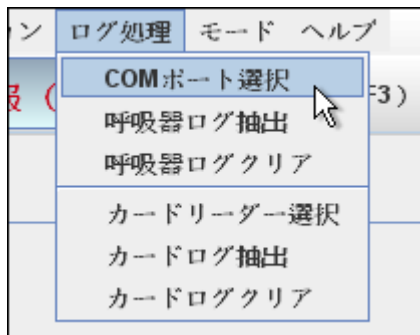
お使いのPCが、IEC 60601-1 規格に準拠している、またはVIVO 30/40に接続されている患者がない場合にのみiComを使わずにPCとVIVO 30/40を接続できます。

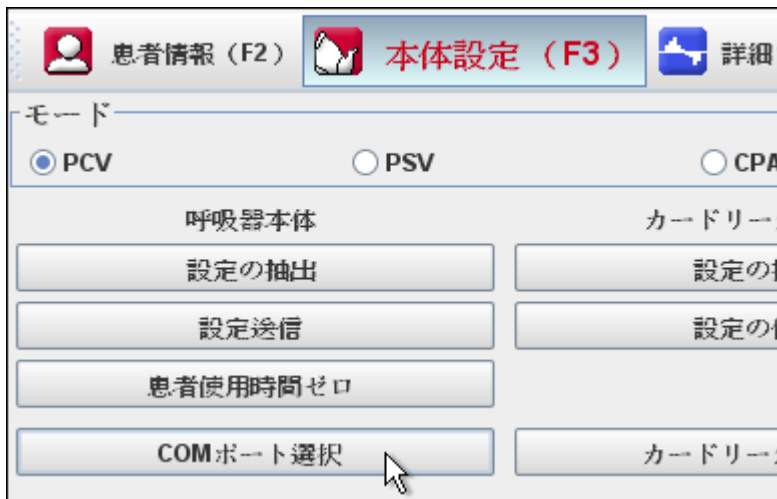


- ケーブルは呼吸器の背面に差し込んでVIVO 30/40と接続します。



- VIVO 30/40が接続されたら、使用するCOMポートをメニューから**ログ処理** > **COMポート選択**を選ぶか**本体設定**パネルで選択します。

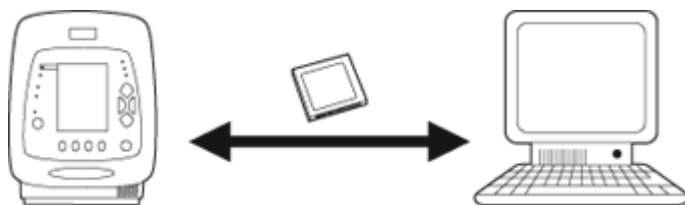




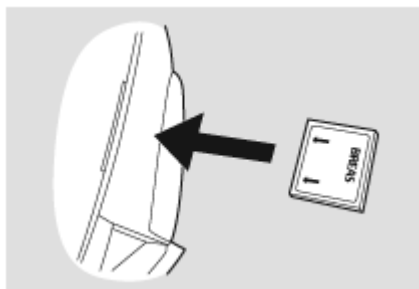
- これでVIVO 30/40 とPCの接続が完了しました。

### CompactFlash<sup>®</sup> カードを使った通信

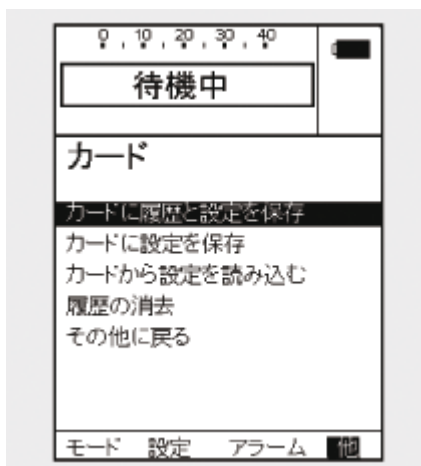
VIVO 30/40 との通信にコンパクトフラッシュカードを使うこともできます。



- VIVO 30/40側面にあるカードスロットにカードを差し込みます。カードは正しく挿入してください。



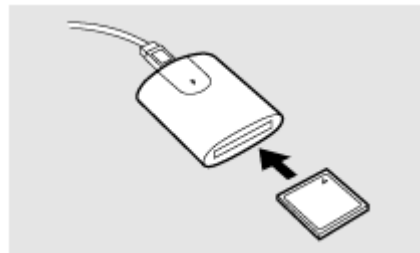
- VIVO 30/40 の"他"からカードのページを表示します。



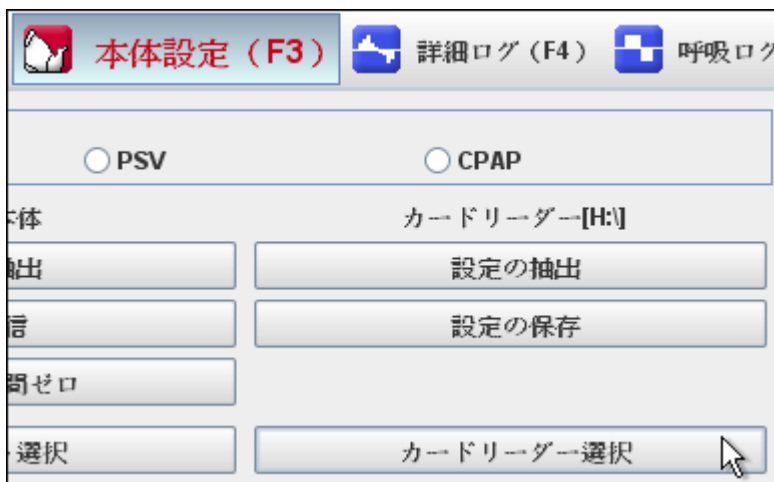
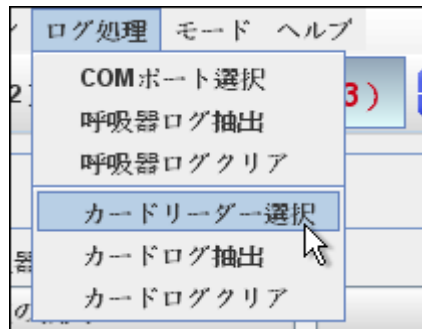
- 希望するオプションを選択したら、呼吸器がカードに書き込みます。



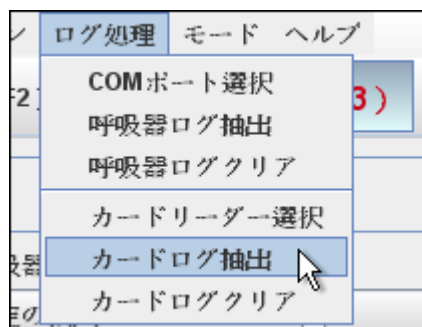
- PCにカードリーダーを接続して、カードを挿入します。Breasロゴを下向きにして挿入してください。



- 使用するCOMポートをメニューからログ処理 > COMポート選択を選ぶか本体設定パネルで選択します。



- ログ処理からカードログ抽出を選択します。



- これでログと設定がカードにダウンロードされ、VIVO 30/40 PCソフトウェアで表示・分析できるようになります。

## 1.2 ソフトウェア

### 使用目的

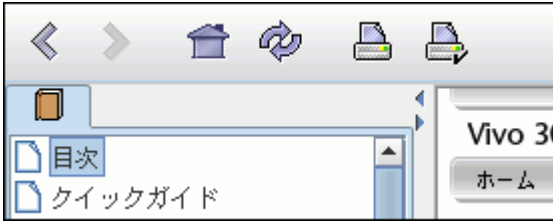
PCソフトウェアは、呼吸器の操作をサポートし、患者の治療を支援するソフトウェアです。  
ソフトウェアは必ず訓練を受けた臨床技師、医師、自宅介護者が行ってください。



### システム要件

ソフトウェアの実行には、Windows 98 SE、Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、またはWindows XP が必要です。オペレーティングシステムは最新版をお使いください。  
他のWindowsオペレーティングシステムで実行できる可能性はありますが、テストされていない、またはサポートされていません。

## 1.3 ソフトウェアヘルプ



### 使い方

ソフトウェアヘルプはメニュー操作(ヘルプ > ドキュメントを見るを選択)、または[Ctrl+H]を押すのいずれかの操作で開きます。作業中のページでメニュー操作(ヘルプ > ヘルプ)または[F1]を押すとそのページのヘルプが表示されます。

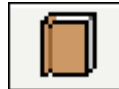
### 表示ページ



ヘルプでは、ヘルプの上部のメニューバーを使う、または左側に表示されるページリストを使って表示できます。表示したいページをクリックして表示します。

### ナビゲーション

- 目次ボタンをクリックすると章および項の一覧が表示されます。
- 前および次ボタンは、前のページ、次のページの表示を切り替えます。
- ホームボタンは、開始ページに戻ります。
- 再ロードボタンは選択したページを再度ロードします。
- 印刷およびページ設定ボタンは、ソフトウェアのヘルプから特定のページを印刷する場合に使います。特に理由のない限り、ページ設定は変更しないでください。印刷機能は、お使いのコンピュータの標準プリンタ設定で使用します。

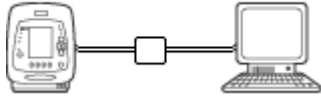


紺色の下線で表示されるリンクを使うと、関連するトピックスを続けて読むことができます。  
[HTMLリンクの例](#)

## 1.4 本体構成品

PCソフトウェアは2つの方法で呼吸器と通信します。

- 通信ボックスのデータケーブルを使う



データケーブルを使用して適切な治療が行われるようにモードと設定を変更します。呼吸器のリモートコントロールおよび患者データの記録と表示が可能です。呼吸器に保存された記録ログをPCに転送することもできます。



データケーブルを使ったデータ転送は、CompactFlash® カードのデータ転送と比べると、約20倍の時間がかかります。



呼吸器とPCの接続は、必ずBreas専用ケーブルをお使いください。



- a CompactFlash® カードを使う



CompactFlash カードは、記録した患者データを呼吸器とPC間で転送するときに使います。CompactFlash カードは、PCから呼吸器の設定、またはその逆を行うときも使用できます。

呼吸器の側面には、CompactFlashカードの読み込み/書込みが内蔵されています。PCでカードのデータを受信できるようにするには、CompactFlash カードリーダーが必要です。その場合、[カードリーダーの設定]をクリックしてCompactFlash カードリーダーのドライブを指定する必要があります。

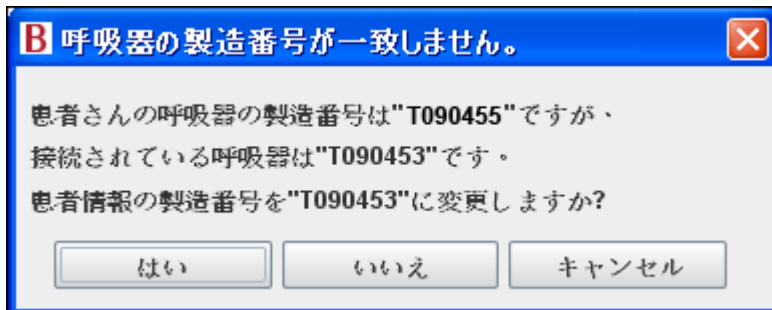


PCまたは呼吸器のデータをCompactFlashカードに書き込むと、カードのデータが上書きされます。



## 1.5 データセキュリティ

呼吸器からデータを正しい患者ファイルにダウンロードしてください。  
所定の操作で患者ファイルのシリアル番号と呼吸器またはカードを照合してください。一致しないと、次のダイアログが表示されます。



はいをクリックすると処理している患者ファイルの製造番号が読み取り値に変更されます。

いいえをクリックすると、呼吸器のシリアル番号は変更されません。

キャンセルをクリックすると、呼吸器のシリアル番号確認処理を中止します。

呼吸器のシリアル番号は以下の手順で確認します。

- 呼吸器ログ抽出 (ログ処理メニュー、本体設定)
- カードのログを読み込む (ログ処理メニュー、本体設定)
- 設定の抽出 (本体設定)
- 設定の送信 (本体設定)
- セッション開始 (リモートコントロール)



## 2.1 モード選択

在宅または院内のいずれかを選択すると、VIVO 30/40のPCソフトウェアの異なるモードが使えるようになります。

在宅モードでは、VIVO 30/40のログのダウンロードと表示ができます。また、VIVO 30/40の治療パラメータの設定、および患者さん情報の入力ができます。

在宅

院内

院内モードでは、VIVO 30/40のリモートコントロールや治療の監視ができます。また、VIVO 30/40の治療パラメータの設定や患者情報の入力もできます。

## 2.2 メニュー




### ファイル

**i** 一度に開ける患者ファイルは1つです。  
メニューバーから[ファイル]を選択すると、次のオプションが与えられます。

ファイル	オプション	ログ
新規		
開く		
上書き保存		Ctrl-S
名前を付けて保存		
印刷		Ctrl-P
患者ファイルのEmail		
最近開いたデータ		▶
終了		Ctrl-Q

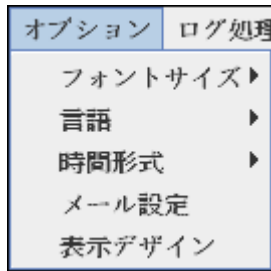
- **新規** 新しい患者ファイルを作成します。PCソフトウェアが起動されると、新しい患者ファイルが自動生成されます。既存のファイルを開いて起動した場合は生成されません。
- **開く** 既存の患者ファイルを開きます。  
>> [詳しく読む](#)
- **上書き保存 (Ctrl + S)** 開いている患者ファイルを既存のファイル名で保存します。  
>> [詳しく読む](#)
- **名前を付けて保存** 開いている患者ファイルを名前を指定して保存します。  
>> [詳しく読む](#)
- **印刷 (Ctrl + P)** 表示しているページを印刷します。
- **患者ファイルのEmail** 現行の電子メール送信設定で患者ファイルをメール送信します。  
>> [詳しく読む](#)
- **最近開いたデータ** 最近保存した患者ファイルに素早くアクセスします。最近保存/開いた患者ファイルが4つまでリストアップされます。
- **終了 (Ctrl + Q)** PCソフトウェアを終了します。

ソフトウェアでは、3つの形式が使用されています。

- **Breas 患者ファイル (.bpf)**  
この形式では、患者データを保管するためにファイルが圧縮されません。  

- **Breas 患者フォルダ**  
大量の患者データを操作する場合は、この形式を使用するとロード時間が速く、時間の節約になります。ただし、ファイルは圧縮されないため、ディスク容量を大量に使用します。  

- **Breas 暗号化患者ファイル (.bpx)**  
患者データの保管にさらにセキュリティが必要な場合は、Breas暗号化患者ファイルの形式を使用します。  


### オプション

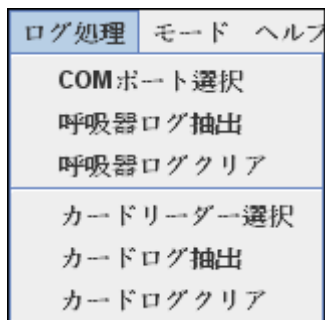
メニューバーから[オプション]を選ぶと、次のオプションが与えられます。



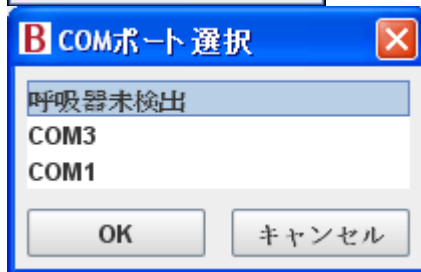
- フォントサイズ  
プログラムのフォントサイズを、小 (Ctrl + 1)、中 (Ctrl + 2)、大 (Ctrl + 3) で変更します。
- 言語  
プログラムの表示言語を変更します。
- 時間形式  
時間形式を24時間または12時間(午前/午後)に変更します。
- メール設定  
患者ファイルの電子メール送信設定を変更します。  
>> [詳しく読む](#)
- 表示デザイン  
プログラムの表示デザインを変更します。  
>> [詳しく読む](#)

## ログ処理

メニューバーから[ログ処理]を選ぶと、次のオプションが与えられます。

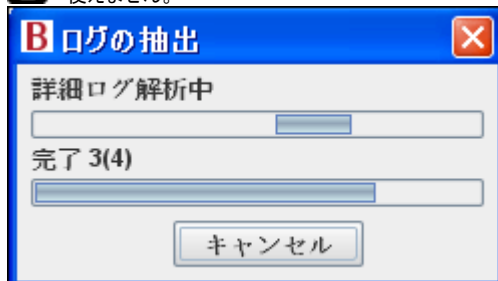


- COMポート選択



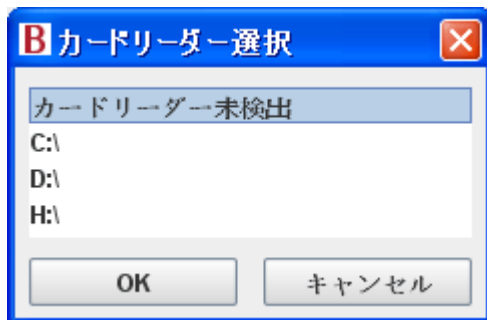
- 呼吸器ログ抽出

VIVO 30/40を接続するCOMポートを選択します。  
呼吸器からログを読み込みます。  
**i** この作業には約20分かかります。その間、呼吸器は使えません。



- 呼吸器ログクリア
- カードリーダー選択

呼吸器にログを消去します。  
**i** この作業には最大4分かかります。その間、呼吸器は使えません。  
呼吸器との通信にCompactFlashカードを使用する場合は、ここでカードリーダーを選択します。  
>> [詳しく読む](#)



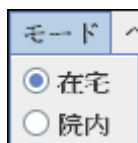
- カードログ抽出
- カードログクリア

カードからログを読み取ります。  
**i** この作業には約4分かかります。その間、呼吸器は使えません。

カードのログを消去します。

## モード

メニューバーから[モード]を選択すると[在宅]と[院内]モードが切り替えます。



- 在宅
- 院内

在宅モードでは、VIVO 30/40のログがダウンロードおよび表示できます。また、VIVO 30/40の治療パラメータの設定や患者さん情報の入力ができます。

院内モードでは、VIVO 30/40のリモートコントロールや治療の監視ができます。また、VIVO 30/40の治療パラメータの設定や患者情報の入力もできます。

## 抵

## 2.3 タブ

セクションタブおよびページタブをクリックする、または[F]キーを使用してPCソフトウェアの以下のページを操作します。

セクション		ページタブ
患者さん情報		
本体設定		
詳細ログ [在宅モード専用]		<ul style="list-style-type: none"><li>● 治療</li><li>● セッション編集</li></ul>
呼吸ログ [在宅モード専用]		<ul style="list-style-type: none"><li>● 治療</li><li>● データサマリー</li><li>● セッション編集</li></ul>
使用ログ [在宅モード専用]		<ul style="list-style-type: none"><li>● 使用履歴</li><li>● カレンダー</li><li>● アラーム</li></ul>
レポート [在宅モード専用]		
リモートコントロール [院内モード専用]		
リモートコントロールログ [院内モード専用]		<ul style="list-style-type: none"><li>● 治療</li><li>● データサマリー</li><li>● セッション編集</li></ul>

### ページタブ

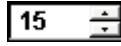
それぞれのセクションには1つ以上の関連するページがある場合があります。このようなページは、ウィンドウの上部にタブで表示されます。通常、呼吸器のログデータは、このようなページで表示されます。



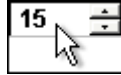
## 2.4 パラメータ設定

呼吸器設定の入力および変更方法は、呼吸器がオンラインであるかどうかにより異なります。値制限の最大および最小値は入力フィールドの横に表示されます。

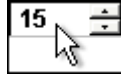
- 上下ボタンをクリックして値または選択を増減します。



- データフレームをクリックして手動で値を入力します。



- データフレームをクリックし、マウスのホイールを使って値または選択をスクロールします。



- +/- 矢印をクリックして値を増減します。



- +/- 矢印を1回クリックしてフォーカスします。フォーカスを設定したら、「スペースキー」を使って値をさらに増減できます。



### 呼吸器のパラメータ



1. パラメータ
2. 値減少
3. 最小値
4. 現在の値
5. 最大値
6. 値増加
7. 単位

値が範囲外の場合は、パラメータが無効になる場合があります。



モードや装置の制限によって、パラメータが使用されない場合があります。



パラメータが間違っている、または範囲外の場合は、値フィールドが赤色になります。値を変更して、赤色表示にならないようにしてください。

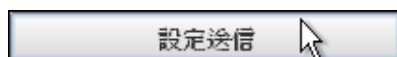


### 切り替えボタン



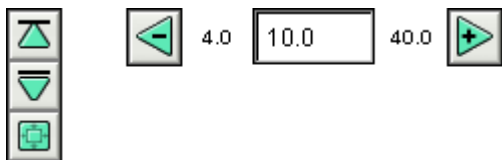
いくつかの機能には独自のパネルがあります。パネルで機能のオン/オフの切り替えができます。機能を有効にしてパラメータを変更します。

呼吸器とカードの操作ボタン



呼吸器の操作とカードのプログラミングを1つのボタンで行い、呼吸器にパラメータを転送することができます。

### オフライン



オフラインモードで変更した値(呼吸器に転送する変更値など)または呼吸器に影響しない変更は緑色で表示されます。

### オンライン



オンライン操作では、パラメータの+/-ボタンは青色で表示され、呼吸器の値をリアルタイムで変更します。

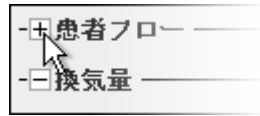
患者さん情報やサービス設定などは、呼吸器のオンライン状態に関わらずいつでも変更できます。これらの設定は、上下ボタンまたは手動で情報を入力して変更します。

## 2.5 グラフ

いくつかのページでは登録データのグラフデータを表示できます。

### 表示

同じページに複数のグラフを表示する場合は、各グラフパネル左上の[-]および[+]ボタンを使用してグラフを拡大または縮小表示することができます。



### 縦ズーム

矢印ボタンを使用して縦軸を拡大・縮小します。上ボタンを使用すると、下限値を固定したまま上限値を変更します。下ボタンを使用すると、上限値を固定したまま下限値を変更します。中央のボタンはグラフをリセットします。



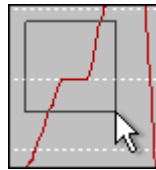
### 横ズーム

マウスをグラフに合わせてからマウスの左ボタンを押してグラフを水平方向に拡大します。[Shift] ボタンを押しながらマウスの左ボタンを押すと縮小します。画面下のラジオボタンでも拡大・縮小ができます。



### フリーズーム

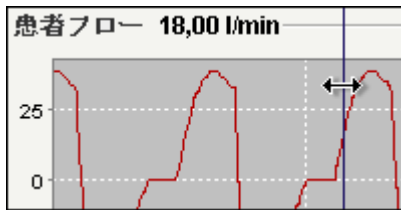
マウスを使用して自由にグラフを拡大・縮小します。マウスのボタンを押しながら右下方向にドラッグします。四角で囲まれた部分が拡大されます。新しい表示は同じアスペクト比でグラフウィンドウに表示されます。



### 全データ表示

マウスボタンを押しながら右下以外のあらゆる方向にドラッグし、マウスボタンを離すと表示可能なすべてのデータを表示します。

### カーソル

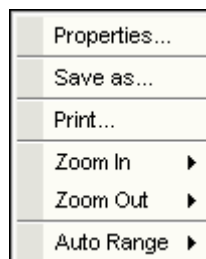


特定の時間の値を読み込むには、時間位置カーソルを使用します。カーソルは、紺色の線で表示されます。デフォルトでグラフの右側に表示されています。グラフの見出しは、カーソルの置かれた位置に関連する情報で変わります。グラフを含むページでは、カーソルを使用したときにパネルの追加情報が更新される場合があります。

### グラフパネル

グラフウィンドウでマウスの右ボタンをクリックすると、グラフパネルが表示されます。

- **プロパティ**  
グラフの全般的な設定(ラベル、フォントサイズ、カラー、差込図、背景色、範囲軸など)を設定します。
- **名前を付けて保存**  
グラフをpng画像形式で保存します。
- **印刷**  
グラフをプリンタで印刷します。
- **ズームイン**  
グラフを拡大します。両軸、横軸、縦軸で拡大で拡大できます。
- **ズームアウト**  
グラフを縮小します。両軸、横軸、縦軸で拡大で縮小できます。





- **自動範囲**

グラフの範囲を自動設定します。両軸、縦軸、横軸を使用します。

グラフコンポーネントの詳細は、<http://www.jfree.org>をご参照ください。

## 2.6 セッション編集パネル

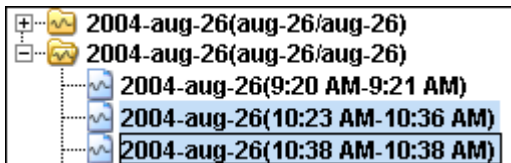
セッションパネルのあるページでは、患者さんのログが黄色のフォルダで表示されます。ログは呼吸器と直接接続して受信する、またはCompactFlashカードからダウンロードします。

ログには複数のセッションを含むことができ、使用時間と一緒に青色のファイル記号で表示されます。

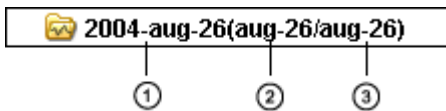
ログには、結合セッションも含まれます。これは二重の青色ファイルの記号で表示されます。



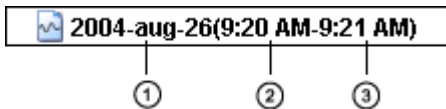
ログリストは、各ログの左側にある－または＋ボタンを使用して展開および縮小できます。



いくつかのセッションパネル(表示しているページにより異なる)で、CtrlとShiftキーを使用して複数のセッションを選択できます。複数セッションを選択した場合、常にリストの最初にあるセッションがグラフパネルに表示されます。操作(削除など)により、黄色のフォルダの列をクリックしてログ全体を選択できます。



1. ログをPCソフトウェアにダウンロードした時間
2. ログの最初のセッションの日付
3. ログの最後のセッションの日付



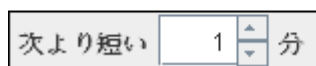
1. セッションが開始された日付
2. セッションが開始された時刻
3. セッションを終了した時刻

いくつかのページは以下のボタンでセッションを変更できます。

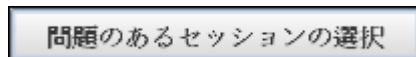
- セッションの削除 選択したセッションを削除します。黄色のフォルダを選択してボタンを押すとログを全部削除します。



- セッションの選択 最大時間の秒数を整数で選択します。セッションの選択ボタンをクリックすると、最大値より小さいセッションがすべて選択されます。



- 問題のあるセッションの選択 関連データを含めるには短すぎる、またはデータが破損しているセッションを選択します。



- セッションの結合 時間が隣接した選択した2つ以上のセッションを結合します。結合セッションは青い二重ファイルのアイコンで表示されます。



- セッションの分解

選択した結合セッションを元の長さに分割します。  
結合セッションを分割すると、前に結合された最初(最上)のセッションがグラフパネルに表示されます。



- 元に戻すと繰り返す

削除、結合、分割されたセッションは、操作の取り消しまたはやり直しが可能です。右側のボタンを使用します。



ファイルを保存すると、元に戻すと繰り返すメモリは消去されます。

## 3.1 開く

このダイアログでは、呼吸器ソフトウェアで患者データファイルを開きます。

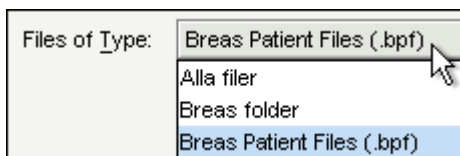
### ファイル形式

ソフトウェアでは3種類のファイル形式が使われます。

- **Breas 患者ファイル (.bpf)**  
この形式では、患者データを保管するためにファイルが圧縮されます。
- **Breas 患者フォルダ**  
大量の患者データを操作する場合は、この形式を使用するとロード時間が速く、時間の節約になります。ただし、ファイルは圧縮されないため、ディスク容量を大量に使用します。
- **Breas 暗号化患者ファイル (.bpx)**  
患者データの保管に更なるセキュリティが必要な場合は、Breas暗号化患者ファイル形式を使用します。

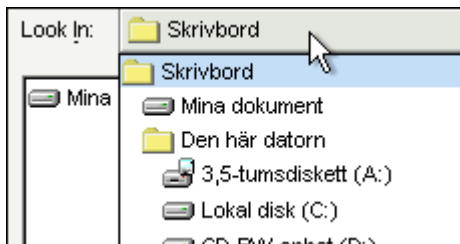


特定のファイルタイプのみを表示するには、**ファイルタイプ**ドロップダウンバーを使用します。

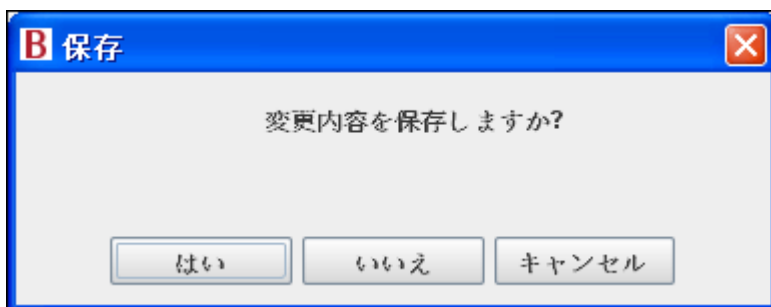


### ファイルの位置決め

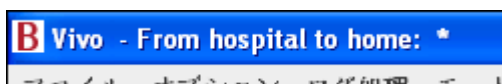
参照ドロップダウンバーを使用して開くファイルの位置を指定します。



作業中のファイルを保存しないでファイルを開こうとすると、作業中ファイルの変更を保存するかどうか聞くダイアログが表示されます。保存しないと、変更はすべて破棄されます。



開いている患者ファイルを変更した場合はタイトルバーに\*印が付いています。



## 3.2 上書き保存

このダイアログでは、呼吸器ソフトウェアで患者データファイルを保存します。

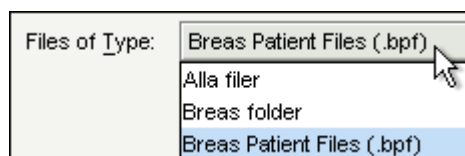
### ファイル形式

ソフトウェアでは3種類のファイル形式が使われます。

- **Breas 患者ファイル (.bpf)**  
この形式では、患者データを保管するためにファイルが圧縮されます。
- **Breas 患者フォルダ**  
大量の患者データを操作する場合は、この形式を使用するとロード時間が速く、時間の節約になります。ただし、ファイルは圧縮されないため、ディスク容量を大量に使用します。
- **Breas 暗号化患者ファイル (.bpx)**  
患者データの保管にさらにセキュリティが必要な場合は、Breas暗号化患者ファイル形式を使用します。  
>> [詳しく読む](#)



特定のファイルタイプのみを表示するには、**ファイルタイプ**ドロップダウンバーを使用します。



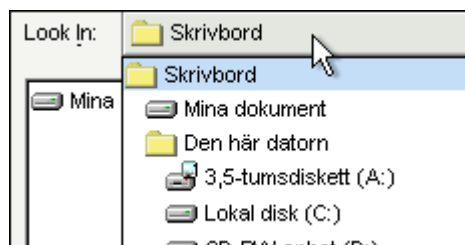
### ファイル保存時にファイル形式を選択する

患者ファイルを保存するときに**ファイルタイプ**ドロップダウンバーで別の形式が指定できます。

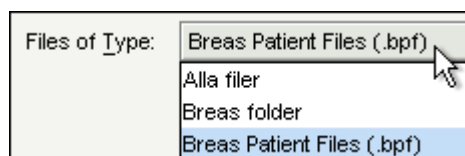
- **すべてのファイル**  
ファイル形式はファイル名に付く拡張子で決まります(「.bpf」はBreas患者ファイルの拡張子)。  
ファイル名に拡張子を付けないと、Breas患者フォルダとして保存されます。
- **Breas患者ファイル**  
ファイルはBreas患者ファイルとして保存されます。ファイル名に拡張子「.bpf」が付けられます(別の拡張子を選択した場合も同様)。
- **Breasフォルダ**  
ファイル名に拡張子を付けません。ファイルはBreas患者フォルダとして保存されます。
- **Breas暗号化患者ファイル**  
ファイルはBreas暗号化患者ファイルとして保存されます。ファイル名に拡張子「.bpf」が付けられます(別の拡張子を選択した場合も同様)。
- **すべてのBreas患者ファイル**  
ファイル形式はファイル名に付く拡張子で決まります(「.bpf」はBreas患者ファイルの拡張子)。  
ファイル名に拡張子を付けないと、Breas患者フォルダとして保存されます。

### ファイルの位置決め

**参照**ドロップダウンバーを使用して開くファイルの位置を指定します。

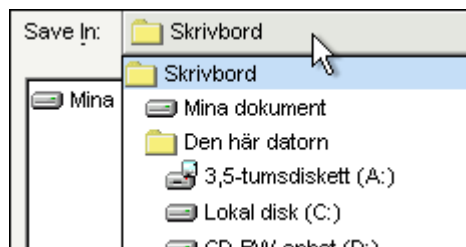


特定のファイルタイプのみを表示するには、**ファイルタイプ**ドロップダウンバーを使用します。



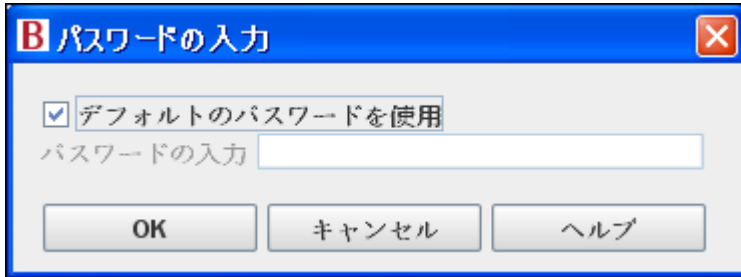
## 保管ファイル

保存ドロップダウンバーからファイルを保管する場所を選択します。



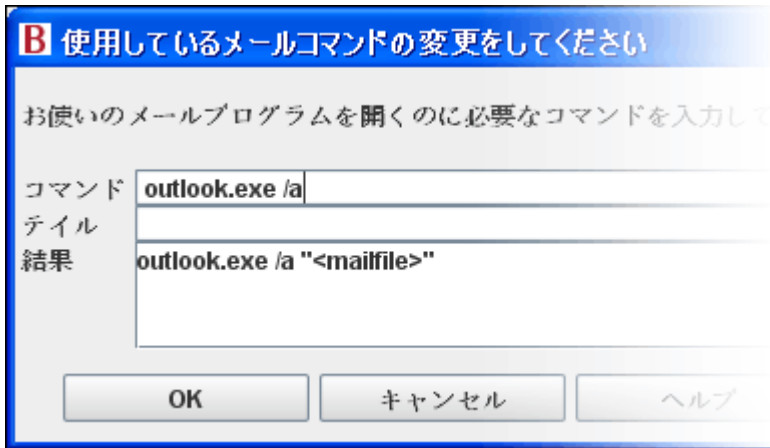
### 3.3 暗号化

患者ファイルを保存するときに暗号化を使用すると、パスワードを自分で入力する、またはデフォルトのパスワードを使用するのいずれかが選べます。  
デフォルトパスワードはVIVO 30/40 PCソフトウェアのすべてのバージョンで同じです。したがって、ファイルはプログラムにアクセス可能な人なら誰でも開くことができます。



### 3.4 メール設定

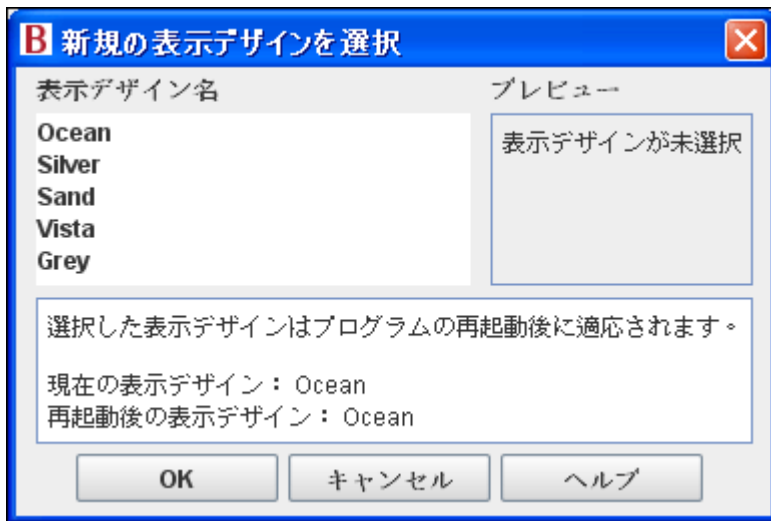
インストールされている電子メールソフトで患者ファイルを電子メール送信できます。この場合、コマンドフィールドで「outlook.exe/a」の前(または他の電子メールソフト名)に実際のパスを入力する必要があります。例えば、「C:\Program\Microsoft Office\Office10\outlook.exe /a」。  
テイルフィールドにコマンドオプションを追加します。





### 3.5 表示デザイン設定

このダイアログで与えられたソフトウェアの表示デザインに変更できます。変更はプログラムを再起動すると適用されます。



#### 表示デザイン名

ここに他の表示デザインが表示されます。マウスで別の名前をクリックすると、右のパネルにプレビューが表示されます。

#### プレビュー

表示デザインのプレビューがここに表示されます。

テキストダイアログに現在使用している表示デザインファイルと再起動後に使用される表示デザインファイルが表示されます。

## 3.6 設定確認

このダイアログの目的は、呼吸器に送信する前に設定を読み取り、確認することです。また、呼吸器時間、目覚まし機能、操作パネルロックの設定もできます。パラメータの設定について詳しく読むには[ここ](#)をクリックします。

### 選択設定

- 治療モード  
換気モードは、PSV (Pressure Support Ventilation: 圧支持換気法)、PCV (Pressure Control Ventilation: 従圧式換気法)、CPAP (Continuous Positive Airway Pressure: 持続的気道陽圧)のいずれかのモードに設定できます。  
呼吸器は成人または小児モードのいずれかで動作します。どちらのモードを使用するかにより、設定内容とアラーム限界を調整します。  
患者さんの体重によりモードを選択します。  
- 小児モード:  
    体重10～30kgのお子様  
- 成人モード:  
    体重30kg以上の患者さん
- 年齢モード  
[Vivo 40 専用]

### 設定

- IPAP 圧  
IPAPの設定で、患者の吸気相の気道内圧を定義します。
- ターゲットボリューム  
[Vivo 40 専用]  
ターゲットボリュームは、VIVO 40が確実に希望するターゲットボリュームを供給するよう自動的にIPAPを調整する機能です。
- ターゲットボリューム機能有効  
[VIVO 40 専用]  
**[オン]**または**[オフ]**でターゲットボリュームを実現します。
- IPAPMax  
[VIVO 40専用]  
設定したターゲットボリュームを実現する為に、VIVO 40が供給するIPAPの最大値。
- EPAP 圧  
EPAPの設定で、患者の呼気相の気道内圧を定義します。
- CPAP 圧  
[CPAP モード]  
CPAPの設定で、CPAPモードの患者の気道内圧を定義します。
- 呼吸回数  
呼吸回数は、呼吸器が供給する呼吸の最小回数を定義します。  
患者は、この呼吸回数よりも多く呼吸しても構いません。
- 吸気時間  
[PCV モード]  
吸気時間の設定で各吸気の長さを制御します。
- 最小吸気時間  
[PSV モード]  
最小吸気時間は、各吸気の最小時間の調整を設定します。
- 最大吸気時間  
[PSV モード]  
最大吸気時間は、各吸気の最大時間の調整を設定します。

- **ライズタイム**  
ライズタイムの設定は、希望するIPAP値に到達するまでの時間を設定します。
- **吸気トリガー**  
吸気トリガーの設定で、呼吸器による補助呼吸を開始する為の患者の呼吸努力を定義します。
- **呼気トリガー**  
[PSV モード]  
呼気トリガーの設定で相対する吸気の流れ(吸気を止めて呼気を開始するタイミング)を定義します。1 が早期吸気、9 が後期吸気を示します。
- **加湿器**  
加湿器は患者呼吸を加湿します。

## ランプ

- **ランプ開始圧**  
ランプ開始圧は、ランプを開始したときの圧力を表示します。
- **ランプ時間**  
ランプ時間は、ランプが適切な圧力に達するまでの時間を表示します。
- **ランプ開始**  
[オン]または[オフ]でランプ機能の起動を指示します。

## アラーム

- **低圧**  
低圧アラームは、呼吸器の圧力が低圧アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。
- **低換気量**  
低換気量アラームは、呼吸器の換気量が低換気量アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。
- **低リーク**  
低リークアラームは、測定フローが想定リーク流量未満の時に発生します。
- **低呼吸回数**  
[VIVO 40専用]  
低呼吸回数アラームは、呼吸器の呼吸回数頻度が低呼吸回数アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。
- **高呼吸回数**  
[Vivo 40 専用]  
高呼吸回数アラームは、呼吸器の呼吸回数頻度が高呼吸回数アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。

## 呼吸器時間

呼吸器の時間を設定する方法を選択します。

- 現状維持
- PCに合わせる
- 設定する:呼吸器に設定する時間(時:分:秒)と日付を指定します。

## 操作パネルロック

操作パネルロックの方法を選択します。

- 現状維持
- 操作パネルをロックする
- 操作パネルのロックを解除する

PCソフトウェアで操作パネルロックを起動すると、VIVO 30/40のパネルボタンまたはメニューからアンロックできません。  
PCソフトウェアでVIVO 30/40をロックした場合は、VIVO 30/40 のロック記号にフレームが付きます。



## 目覚まし時計

目覚まし時計の操作の仕方を選びます。

- 現状維持
- オフ
- 設定する: 呼吸器に設定するアラーム時刻(時:分)を指定します。

## 3.7 治療モードの変更

このダイアログの目的は、オンラインセッション中に治療モードを変更することです。呼吸器に送信する前に、設定を読み込み、確認する必要があります。  
パラメータの設定に関する詳細は、[ここ](#)をクリックしてください。

### 選択設定

- 治療モード  
呼吸器は、PSV (Pressure Support Ventilation: 圧支持換気法)、PCV (Pressure Control Ventilation: 従圧式換気法)、CPAP (Continuous Positive Airway Pressure: 持続的気道陽圧)のいずれかのモードに設定できます。  
呼吸器は成人または小児モードのいずれかで動作します。どちらのモードを使用するかにより、設定内容とアラーム限界を調整します。  
患者さんの体重によりモードを選択します。  
- 小児モード:  
 体重10~30kgのお子様  
- 成人モード:  
 体重30kg以上の患者さん
- 加湿器の起動  
加湿器は患者の呼吸に湿度を加えます。

### 設定

- IPAP圧  
IPAPの設定で、患者の吸気相の気道内圧を定義します。
- EPAP圧  
EPAPの設定で、患者の呼気相の気道内圧を定義します。
- CPAP圧  
[CPAP モード]  
CPAPの設定で、CPAPモードの患者の気道内圧を定義します。
- 呼吸回数  
呼吸回数は、呼吸器が供給する呼吸の最小回数を定義します。  
患者は、この呼吸回数よりも多く呼吸しても構いません。
- ライズタイム  
ライズタイムの設定は、希望するIPAP値に到達するまでの時間を設定します。
- 吸気トリガー  
吸気トリガーの設定で、呼吸器による補助呼吸を開始する為の患者の呼吸努力を定義します。
- 呼気トリガー  
[PSV モード]  
呼気トリガーの設定で相対する吸気の流れ(吸気を止めて呼気を開始するタイミング)を定義します。1 が早期吸気、9 が後期吸気を示します。
- 吸気時間  
[PCV モード]  
吸気時間の設定で各吸気の長さを制御します。
- 最小吸気時間  
[PSV モード]  
最小吸気時間は、各吸気の最小時間の調整を設定します。
- 最大吸気時間  
[PSV モード]  
最大吸気時間は、各吸気の最大時間の調整を設定します。

- 加湿器

患者さんの呼吸の相対湿度を設定します。9 が最高湿度、1 が最小湿度を示します。

## ターゲットボリューム

[Vivo 40 専用]

ターゲットボリューム機能		停止	
有効		無効	
ターゲットボリューム	◀ 0.20	0.50	▶ 1.50 リットル
ターゲットIPAPMax	◀ 4.0	10.0	▶ 40.0 cmH2O

ターゲットボリューム機能をオン/オフできます。

- ターゲットボリューム  
ターゲットボリュームは、VIVO 40が確実に希望するターゲットボリュームを供給するよう自動的にIPAPを調整する機能です。
- IPAPMax  
設定したターゲットボリュームを実現する為に、VIVO 40が供給するIPAPの最大値。

## アラーム

- 低圧  
低圧アラームは、呼吸器の圧力が低圧アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。
- 低換気量  
低換気量アラームは、呼吸器の換気量が低換気量アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。
- 低リーク  
低リークアラームは、測定フローが想定リーク流量未満の時に発生します。
- 低呼吸回数  
[VIVO 40専用]  
低呼吸回数アラームは、呼吸器の呼吸回数頻度が低呼吸回数アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。
- 高呼吸回数  
[Vivo 40 専用]  
高呼吸回数アラームは、呼吸器の呼吸回数頻度が高呼吸回数アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。

## ランプ

ランプ機能		停止	
ランプで開始		ランプなしで開始	
開始圧	◀ 2.0	2.0	▶ 20.0 cmH2O
時間	◀ 10	10	▶ 60 分
終了圧： 10.00			

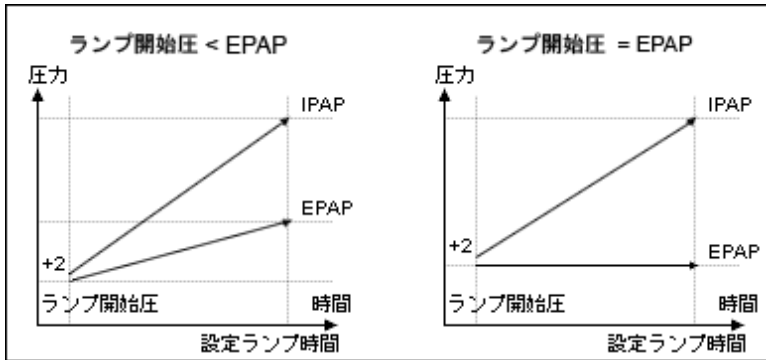
ランプフレームでは、ランプの起動および停止を行います。

- ランプ時間  
ランプ時間は、ランプが適切な圧力に達するまでの時間を表示します。

- ランプ開始圧

ランプ開始圧は、ランプを開始したときの圧力を表示します。

ランプ機能は、設定時間内のEPAPおよびIPAP圧を増加させ、EPAP開始値が設定されたEPAP圧より低い場合に使用します。





## 4.1 患者さん情報

患者さん情報フレームでは、患者さん情報を編集することができます。  
データを変更するには、**ロック解除**ボタンをクリックします。



データを変更したら、**ロック**ボタンをクリックします。



### 呼吸器情報

- 機種
- 製造番号

ソフトウェアはVIVO 30とVIVO 40 呼吸器の両方をサポートしています。  
ここで使用する呼吸器を選択します。  
製造元のシリアル番号です。



カードまたは呼吸器から設定やログを読み込むときは、読み込み元の呼吸器またはカードのシリアル番号を患者ファイルのシリアル番号で確認します。

- トラッキング番号

オプションの管理用追跡番号です。

### 患者さん情報

- 名前
- 苗字
- IDコード
- 生年月日
- 住所
- 住所
- 郵便番号
- 国
- 電話番号
- 緊急連絡先
- 年齢
- 性別
- 身長(m)
- 体重(kg)
- BMI

患者さんの名前です。

患者さんの苗字です。

患者さんのIDです。


患者さんの生年月日です。

患者さんの住む番地です。

患者さんの住む市町村です。

患者さんの住所の郵便番号です。

患者さんの母国です。

 最後に入力された値がデフォルトとして保存され、プログラム起動時および新しい患者作成時に使用されます。

患者さんの連絡先電話番号です。

患者さんの予備の電話番号です。

患者さんの年齢は、生年月日から算出されます。

患者さんの性別です。



患者さんの身長です。

患者さんの体重です。

患者さんの体格指数は、体重および身長から算出されます。

### 管理者情報



- 保険会社  
患者さんが契約している保険会社です。
- 保険番号  
患者さんの保険番号です。
- 雇用者  
患者さんの勤務先です。
- 主治医  
患者さんの担当医師です。  
 最後に入力された値がデフォルトとして保存され、プログラム起動時および新しい患者作成時に使用されます。
- 医療機関  
患者さんの通う病院です。  
 最後に入力された値がデフォルトとして保存され、プログラム起動時および新しい患者作成時に使用されます。
- 備考  
患者さんの入院に関する注意事項です。
- 診断コード  
患者さんの診断コードです。

## 備考

ここに注意事項を明記します。

†



## 5.1 本体設定

設定ページでは、呼吸器のモードとステータスについて全体的な説明をします。設定ページを最新の状態に保つには、患者設定を読み出す必要があります。呼吸器から患者データ(ログ)および設定を読み出すには、2つのいずれかの方法で接続を確立します。(クイックガイドまたは1.4 本体構成を参照)。

- 通信ボックス (iCom) とデータケーブル

データケーブルを使用した場合、治療中にモードおよび設定を変更することができます。呼吸器はリモートコントロールで患者データの記録、表示、操作が可能です。呼吸器に保存された記録ログをPCに転送することもできます。



**呼吸器とPCの接続は、必ずBreas専用ケーブルをお使いください。**

- CompactFlash<sup>®</sup> カード

CompactFlashカードは、記録した患者データを呼吸器とPC間で転送するときに使用します。



設定ページは、オンラインセッションが有効のときは無効です。

呼吸器を接続するには、ユーザーがコンピュータのCOMポートを選択する必要があります。COMポートを選択したら、適切がボタンが有効表示されます。

### モード

#### 換気モード:

- PSV (Pressure Support Ventilation: 圧支持換気法)
- PCV (Pressure Control Ventilation: 従圧式換気法)
- CPAP (Continuous Positive Airway Pressure: 持続的気道陽圧)

#### 対象患者:

- 成人  
患者さんの体重が30kg以上のときに成人モードにします。
- 小児  
患者さんの体重が10~30kgのときに小児モードにします。



モードの違いについては臨床医用マニュアルをご参照ください。

### 設定 (PSV成人用)

設定フレームでは、モードに適した設定について説明します。ただし、設定は、通信ボックス(データケーブル使用)またはCompactFlashカードを使用して**設定読み出し**および**設定保存**ボタンで呼吸器に転送するまで実行されません。呼吸器に設定を送信したら、その設定を必ず確認します。

>> [詳しく読む](#)

呼吸器本体 [COM 3]	
設定の抽出	
設定送信	
患者使用時間ゼロ	
COMポート選択	

カードリーダー [H:]	
設定の抽出	
設定の保存	
カードリーダー選択	

COMポートを使用する場合は、選択したCOMポートが四角カッコ内に表示されます。



Windows 98では、呼吸器に一度は接続されたが現在接続されていないCOMポートを選択すると、システムが無応答状態になることがあります。この場合は、

アプリケーションを再起動します。

呼吸器本体
呼吸器本体 [COM1]

COMポートが接続されていない状態

呼吸器との通信用に選択したCOM1

パラメータの変更については、[2.3 パラメータ設定](#)をご参照ください。

- IPAP圧  
IPAPの設定で、患者の吸気相の気道内圧を定義します。
- EPAP圧  
EPAPの設定で、患者の呼気相の気道内圧を定義します。
- CPAP圧  
[CPAP モード]  
CPAPの設定で、CPAPモードの患者の気道内圧を定義します。
- 呼吸回数  
呼吸回数は、呼吸器が供給する呼吸の最小回数を定義します。  
患者は、この呼吸回数よりも多く呼吸しても構いません。
- ライズタイム  
ライズタイムの設定は、希望するIPAP値に到達するまでの時間を設定します。
- 吸気トリガー  
吸気トリガーの設定で、呼吸器による補助呼吸を開始する為の患者の呼吸努力を定義します。
- 呼気トリガー  
[PSV モード]  
呼気トリガーの設定で相対する吸気の流れ(吸気を止めて呼気を開始するタイミング)を定義します。1 が早期吸気、9 が後期吸気を示します。
- 吸気時間  
[PCV モード]  
吸気時間の設定で各吸気の長さを制御します。
- 最小吸気時間  
[PSV モード]  
最小吸気時間は、各吸気の最小時間の調整を設定します。
- 最大吸気時間  
[PSV モード]  
最大吸気時間は、各吸気の最大時間の調整を設定します。
- 加湿器  
患者さんの呼吸の相対湿度を設定します。9 が最高湿度、1 が最小湿度を示します。

## ターゲットボリューム

[Vivo 40 専用]

ターゲットボリューム機能	停止
<input checked="" type="button" value="有効"/>	<input type="button" value="無効"/>
ターゲットボリューム	0.20 0.50 1.50 リットル
ターゲットIPAPMax	4.0 10.0 40.0 cmH2O

ターゲットボリューム機能をオン/オフできます。

- ターゲットボリューム  
ターゲットボリュームは、VIVO 40が確実に希望するターゲットボリュームを供給するよう自動的にIPAPを調整する機能です。

- IPAPMax  
設定したターゲットボリュームを実現する為に、VIVO 40 が供給するIPAPの最大値。

## アラーム

- 低圧  
低圧アラームは、呼吸器の圧力が低圧アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。
- 低換気量  
低換気量アラームは、呼吸器の換気量が低換気量アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。
- 低リーク  
低リークアラームは、測定フローが想定リーク流量未満の時に発します。
- 低呼吸回数  
[VIVO 40専用]  
低呼吸回数アラームは、呼吸器の呼吸回数頻度が低呼吸回数アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。
- 高呼吸回数  
[Vivo 40 専用]  
高呼吸回数アラームは、呼吸器の呼吸回数頻度が高呼吸回数アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。

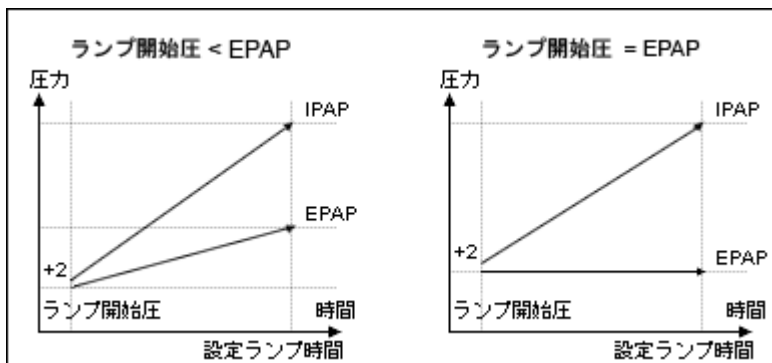
## ランプ



ランプフレームでは、ランプの起動および停止を行います。

- ランプ時間  
ランプ時間は、ランプが適切な圧力に達するまでの時間を表示します。
- ランプ開始圧  
ランプ開始圧は、ランプを開始したときの圧力を表示します。

ランプ機能は、設定時間内のEPAPおよびIPAP圧を増加させ、EPAP開始値が設定されたEPAP圧より低い場合に使用します。



## サービス

サービスパネルは、いずれかの**設定読み出し**ボタンが押されると更新されます。フラッシュメモリーカードから読み込むと、次のサービスデータが更新されます。

- 製造番号
- 作動時間
- 治療時間
- プログラムバージョン



在宅モードでは、呼吸器を直接プログラムする場合に限りランプ機能を無効にすることができます。CompactFlashカードから呼吸器をプログラムすることはできません。



## 詳細ログ

[在宅モード専用]

詳細ログには、呼吸器の詳細ログのデータが含まれます。詳細ログは、呼吸器またはメモリカードからダウンロードします。情報は10Hz周波数で抽出され、詳細ログは最新の(約)16時間分が記録されます。

### 6.1 治療

治療セクションでは、呼吸器またはメモリカードからダウンロードして作成されたセッションが表示および分析できます。

#### セッション

セッションパネルには、患者さんの別のセッションが表示されます。1度に選択できるのは1セッションです。セッションウィンドウの詳細な操作方法は、[2.6 セッションパネル](#)をご参考ください。

#### カーソル位置の設定

カーソル位置の設定はカーソルが置かれた場所の設定を表示します。カーソルの詳しい操作方法は、[2.5 グラフ](#)をご参照ください。



**実際にはイベントのログには多少の遅延があるため、カーソルの設定より15秒経過した時点からイベントを表示します。**

#### グラフ

グラフパネルには、詳細ログセッションの次のデータが表示されます。

- イベント 次のアラームおよびイベントが発生すると表示されます。マスクオフ、高圧アラーム、低圧アラーム、低換気量アラーム、高呼吸回数アラーム、低呼吸回数アラーム、スタンバイ
- 圧力 圧力グラフには、呼吸器で測定した圧力の抽出データが表示されます。
- フロー フローグラフには、呼吸器で測定したフローの抽出データが表示されます。リークは、算出した患者さんのフローから減算します。
- 換気量 換気量グラフには、呼吸器で測定した換気量の抽出データが表示されます。
- リーク リークグラフには、呼吸器で測定したリークの抽出データが表示されます。

グラフパネルの詳しい操作方法は、[2.5 グラフ](#)をご参照ください。



## 詳細ログ

[在宅モード専用]

### 6.2 セッション編集

セッション編集では、次のボタンを使用してセッションを変更できます。

- セッションの削除 選択したセッションを削除します。黄色のフォルダを選択してボタンを押すとログを全部削除します。



- セッションの選択 最大時間の秒数を整数で選択します。セッションの選択ボタンをクリックすると、最大値より小さいセッションがすべて選択されます。



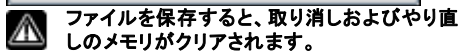
- セッションの結合 時間が隣接した選択した2つ以上のセッションを結合します。結合セッションは青い二重ファイルのアイコンで表示されます。



- セッションの分解 選択した結合セッションを元の長さに分割します。結合セッションを分割すると、前に結合された最初(最上)のセッションがグラフパネルに表示されます。



- 元に戻すと繰り返す 削除、結合、分解されたセッションは、操作の取り消しまたはやり直しが可能です。右側のボタンを使用します。



ファイルを保存すると、取り消しおよびやり直しのメモリがクリアされます。

- 問題のあるセッションの選択 関連データを含めるには短すぎる、またはデータが破損しているセッションを選択します。



#### グラフ

グラフパネルには、セッションの次のデータが表示されます。

- イベント
- 圧力

グラフパネルの詳しい操作方法は、[2.5 グラフ](#)をご参照ください。

## 呼吸ログ

[在宅モード専用]

呼吸ログには、呼吸器の呼吸ログが含まれています。呼吸ログは、呼吸器またはメモリカードからダウンロードされます。情報は呼吸ごとに収集され、呼吸ログには、過去約4週間分の使用が記録されます。

### 7.1 治療

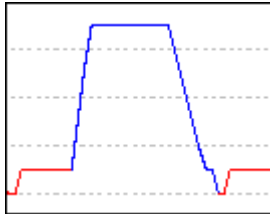
治療セクションでは、呼吸器またはメモリカードからダウンロードして作成されたセッションが表示および分析できます。

#### セッション

セッションフレームには、患者さんの別のセッションが表示されます。セッションウィンドウの詳細な操作方法は、[2.6 セッションパネル](#)をご参考ください。


#### 患者自身の呼吸

患者さん自身の呼吸は青色で表示されます。



#### カーソル位置の設定

フレーム設定はカーソルが置かれた場所の設定を表示します。カーソルの詳しい操作方法は、[2.5 グラフ](#)をご参照ください。

 実際にはイベントのログには多少の遅延があるため、カーソルの設定より15秒経過した時点からイベントを表示します。

#### グラフ

グラフパネルには、呼吸ログセッションの次のデータが表示されます。

- イベント 次のアラームおよびイベントが発生すると表示されます。マスクオフ、高圧アラーム、低圧アラーム、低換気量アラーム、高呼吸回数アラーム、低呼吸回数アラーム、スタンバイ
- 平均圧 平均圧グラフは、呼吸器で測定された圧力の抽出データで表示されます。
- フロー フローグラフには、呼吸器で測定したフローの抽出データが表示されます。リークは、算出した患者さんのフローから減算します。
- 換気量 換気量グラフには、呼吸器で測定した換気量の抽出データが表示されます。
- 呼気リーク 呼気リークグラフは、呼吸器で測定されたリーククの抽出データで表示されます。

グラフフレームの詳細な操作方法は、[2.5 グラフのセクション](#)をご参照ください。





# 呼吸ログ

[在宅モード専用]

## 7.2 データサマリー

データサマリーでは、1つまたは複数のセッションの概要を表示します。

### セッション

セッションフレームには、患者さんの別のセッションが表示されます。セッションウィンドウの詳細な操作方法は、[2.6 セッションパネル](#)をご参考ください。

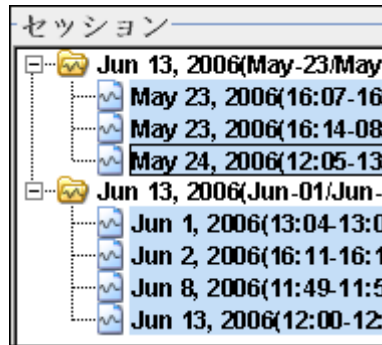
### 記録の概要

このパネルは、**セッションパネル**で選択したセッションの計算値が表示されます。すべての選択したセッションから得る値の平均値が**平均**の欄に表示されます。平均値には選択したセッションの時間が考慮されていないのでバランスされていません。値フィールドに「---」が表示される場合は、ログのデータから値が算出できないことを示します。

平均
11.40
4
10
10
0.417
1.14

### 傾向

複数のセッションを選択した場合、選択したすべてのセッションをグラフパネルで同時に表示することができます。こうすることで、患者さんのVIVO 30/40の使用傾向を把握することができます。





## 呼吸ログ

[在宅モード専用]

### 7.3 セッションの編集

セッションセクションでは、次のボタンを使用してセッションを修正できます。

- セッションの削除 選択したセッションを削除します。黄色のフォルダを選択してボタンを押すとログを全部削除します。



- セッションの選択 最大時間の秒数を整数で選択します。セッションの選択ボタンをクリックすると、最大値より小さいセッションがすべて選択されます。



- セッションの結合 時間が隣接した選択した2つ以上のセッションを結合します。結合セッションは青い二重ファイルのアイコンで表示されます。



- セッションの分解 選択した結合セッションを元の長さに分割します。結合セッションを分割すると、前に結合された最初(最上)のセッションがグラフパネルに表示されます。

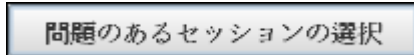


- 元に戻すと繰り返す 削除、結合、分割されたセッションは、操作の取り消しまたはやり直しが可能です。右側のボタンを使用します。



- ファイルを保存すると、取り消しおよびやり直しのメモリがクリアされます。

- 問題のあるセッションの選択 関連データを含めるには短すぎる、またはデータが破損しているセッションを選択します。



#### グラフ

グラフパネルには、セッションの次のデータが表示されます。

- イベント
- 圧力

グラフパネルの詳細な操作方法は、[2.5 グラフ](#)をご参照ください。



## 使用ログ

[在宅モード専用]

使用ログには、長い期間呼吸器が使用されてきた状態を記録されています。

### 8.1 使用履歴

#### 長期使用データ

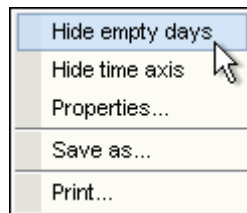
このパネルは、呼吸器が使用された時間間隔のグラフを表示します。別のログに関する情報を表示するには、左上角のドロップダウンボックスを使用します。24時間単位を変更するには、下限のドロップダウンボックスと上限のドロップダウンボックスを使用します。左のドロップダウンボックスは、24時間間隔の終点を制御します。右のドロップダウンボックスは、24時間間隔の終点を制御し、左で選択した間隔に短縮することができます。24時間間隔で表示できる最大日数は35日(5週間)です。ログに35週(24時間間隔)以上のセッションがある場合は、マウスのスクロールホイールを使用して、選択したログ内を24時間間隔で移動できます。

別のログを削除したり、削除を取り消したりする場合は、ログにマークを付け、削除および削除取り消しボタンを使用します。

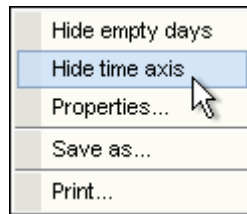


削除取り消し機能は最後に削除した作業にのみ適用できます。

使用していない日を非表示にするには、グラフパネルでマウスを右クリックして、未使用日を隠すオプションを選択します。



時間軸を非表示にするには、グラフパネルでマウスを右クリックして、時間形式を隠すオプションを選択します。





## 使用ログ

[在宅モード専用]

### 8.2 カレンダー

#### 長期使用データ

「長期使用データ」フレームには以下のデータが表示されます。

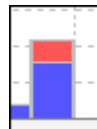


値は選択したログから算出されます。

- 合計電源オン時間 呼吸器が動作モードで稼働した総合時間です。
- 合計電源オン回数 呼吸器の電源が入れられた総合回数です。
- 合計治療日数 24時間間隔の同じ時点で呼吸器がマスクオン状態の動作モードで稼働した合計日数です。
- 電源オンの日数 24時間間隔で、呼吸器のスイッチが1回以上押された合計日数です。
- 平均電源オン、全日数 全てのカレンダーの日付を対象にして呼吸器の電源が入れられた一日の平均使用時間(時間単位)です。
- 平均電源オン時間、治療日数 呼吸器の電源が入れられた日を対象にした一日平均使用時間(時間単位)です。
- 平均IPAP ログ設定時間内の平均IPAP圧です。
- 平均EPAP ログ設定時間内の平均EPAP圧です。
- ピーク圧 ログ設定時間内で最高の圧力値です。
- 平均換気量 ログ設定時間中の平均換気量です。
- 最大換気量 最大換気量です。
- マスクオフ時間 呼吸器がマスクオフ検出を実行した総合時間です。

長期使用データのグラフパネルには、以下のデータが含まれます。

- 平均圧 24時間のEPAPおよびIPAPの平均圧を棒グラフで表示します。グラフの青い部分がEPAP、赤い部分がIPAPを示します。
- マスクオン% マスクを装着していた時間の割合です。
- 電源オン 24時間間隔で、呼吸器の電源が入れられた時間を表示します。



グラフの24時間は、正午から正午までの24時間で表示され、夜間を一つのバーで表示しています。

別のログに関する情報を表示するには、左上角のドロップダウンボックスを使用します。24時間単位を変更するには、下限のドロップダウンボックスと上限のドロップダウンボックスを使用します。左のドロップダウンボックスは、24時間間隔の終点を制御します。右のドロップダウンボックスは、24時間間隔の終点を制御し、左で選択した間隔に短縮することができます。別のログを削除したり、削除を取り消したりする場合は、ログにマークを付け、**削除**および**削除取り消し**ボタンを使用します。

削除

削除の中止



削除取り消し機能は最後に削除した作業にのみ適用できます。



## 使用ログ

[在宅モード専用]

### 8.3 アラーム

このパネルには、選択したログで発生したアラームの一覧が表示されます。



アラーム一覧は呼吸ログに保管されます。使用ログの期間が長くても、呼吸ログ期間内に発生したアラームしか表示することはできません。

別のログに関する情報を表示するには、左上角のドロップダウンボックスを使用します。24時間単位を変更するには、下限のドロップダウンボックスと上限のドロップダウンボックスを使用します。左のドロップダウンボックスは、24時間間隔の終点を制御します。右のドロップダウンボックスは、24時間間隔の終点を制御し、左で選択した間隔に短縮することができます。

別のログを削除したり、削除を取り消したりする場合は、ログにマークを付け、削除および削除取り消しボタンを使用します。

削除

削除の中止



削除取り消し機能は最後に削除した作業にのみ適用できます。



## 9.1 レポート

[在宅モード専用]

このパネルでレポートを指定します。

- ログの選択

**ロゴ選択**を使用して所属する組織を表示するロゴタイプを選択します。ロゴが選択されたら、VIVO 30/40 用PCソフトウェアはそれを記憶して別のロゴが指定されるまでデフォルトとして使用します。  
 ウィンドウの右下角にロゴが表示されます。  
 選択したロゴを削除することもできます。

- ログ

February	2006					
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
05			1	2	3	4
06	5	6	7	8	9	10
07	12	13	14	15	16	17
08	19	20	21	22	23	24
09	26	27	28			

ログボタン(ログは日付で表示)を使用してレポートを作成する患者のログを選択します。下の2つのボタンを使用して、レポートを作成する期間の始点と終点を選択します。デフォルトの時間間隔は全ログです。



テンプレートは簡単に標準レポートやさまざまな目的のレポートを作成するために使用します。

- テンプレートの選択

このドロップダウンメニューを使用して既存のテンプレートを選択します。  
**[サンプルレポート]**は、最も使用する項目を含めて予め定義されたレポートです。

- 選択の追加、  
選択の削除

**[選択の追加]**と**[選択の削除]**ボタンを使用してレポートに別のレポート章を追加および削除します。  
 デフォルトには章はありません。

- 説明

別のレポート章を追加および削除する場合は、章の説明が**選択したレポートの説明**パネルに表示されます。

- テンプレートの作成  
と削除

テンプレートの作成又は変更	
名前を付けて保存	<input type="text"/>

選択したテンプレートの削除	
削除	<簡易

新しいテンプレートを作成するには、レポート章の選択で追加する章を選択してから、右側の入力フィールドに名前を入力し、**名前を付けて保存**をクリックします。  
既存のテンプレートを削除するには、テンプレートのドロップダウンメニューで選択してから**削除**をクリックします。

- 印刷

印刷
----

**印刷**を選択してレポートを作成し、デフォルトのプリンタに送信します。システム構成に合わせて標準ダイアログウィンドウが表示されます。





## 10.1 リモートコントロール

[院内モード専用]

リモートコントロールで、呼吸器の設定変更、アラームの告知、治療状況および治療中のセッションのデータなどが表示できます。  
蓄積されたオンラインデータは、患者ファイルに保存されます。  
オンラインでデータを見るには、ケーブルを直接接続する必要があります。呼吸器とPC間の接続を確立したら、呼吸器がオンラインになり、セッションを開始できます。>> [詳しく読む](#)

セッション開始

**セッション開始**ボタンが押されたら、呼吸器の変更パラメータが直接PCソフトウェアに転送され、リモートコントロールページに表示されます。このときの時間差は約1秒です。セッションが開いている間は、設定およびアラームパネルで呼吸器の設定を直接個別で変更できます。セッションを閉じるには、**セッション終了**ボタンを押します。

セッション終了

**セッション終了**ボタンを押すと、呼吸器からのデータの読み取りが停止され、治療およびセッションタブで表示できる新しいオンラインセッションを作成します。

待機状態に戻る

**待機状態に戻る**ボタンを押すと、呼吸器が待機状態になります。これが呼吸器をリモートでオン/オフするボタンです。

作動させる

**作動させる**ボタンを押すと、呼吸器が作動して治療を続行します。これが呼吸器をリモートでオン/オフするボタンです。

ランプの開始

**ランプの開始**ボタンを押すと、ランプ機能を開始します。ランプ機能が既に開始されている場合は、再始動します。

ランプのキャンセル

**ランプのキャンセル**は、ランプ機能を中止し、設定に従った治療に戻ります。

モード変更

治療モードを変更するには、**モード変更**ボタンを押します。治療モードを変更すると、ダイアログの表示設定に影響を与えます。  
>> [詳しく読む](#)

加湿器動作中

チェックボックスをクリックして加湿器をオン/オフします。

各パネルの左上にある - および + ボタンを使うと、特定のパネルを展開および縮小できます。

+	治療状態とアラーム
設定する	一回換気量
	ピーク圧
	呼吸回数
	分時換気量

設定

IPAP圧	◀	4.0	25.0	40.0	▶	cmH2O
-------	---	-----	------	------	---	-------

設定

- IPAP圧  
IPAPの設定で、患者の吸気相の気道内圧を定義します。
- EPAP圧  
EPAPの設定で、患者の呼気相の気道内圧を定義します。
- CPAP圧  
[CPAP モード]  
CPAPの設定で、CPAPモードの患者の気道内圧を定義します。
- 呼吸回数  
呼吸回数は、呼吸器が供給する呼吸の最小回数を定義します。  
患者は、この呼吸回数よりも多く呼吸しても構いません。
- ライズタイム  
ライズタイムの設定は、希望するIPAP値に到達するまでの時間を設定します。
- 吸気トリガー  
吸気トリガーの設定で、呼吸器による補助呼吸を開始する為の患者の呼吸努力を定義します。
- 呼気トリガー  
[PSVモード]  
呼気トリガーの設定で相対する吸気の流れ(吸気を止めて呼気を開始するタイミング)を定義します。1 が早期吸気、9 が後期吸気を示します。
- 吸気時間  
[PCV モード]  
吸気時間の設定で各吸気の長さを制御します。
- 最小吸気時間  
[PSV モード]  
最小吸気時間は、各吸気の最小時間の調整を設定します。
- 最大吸気時間  
[PSV モード]  
最大吸気時間は、各吸気の最大時間の調整を設定します。
- 加湿器  
患者さんの呼吸の相対湿度を設定します。9 が最高湿度、1 が最小湿度を示します。

## ターゲットボリューム

[VIVO 40 専用]

ターゲットボリューム機能		停止	
有効		無効	
ターゲットボリューム	◀ 0.20	0.50	▶ 1.50 リットル
ターゲットIPAPMax	◀ 4.0	10.0	▶ 40.0 cmH2O

ターゲットボリューム機能の起動/停止を設定します。

- ターゲットボリューム  
ターゲットボリュームは、VIVO 40が確実に希望するターゲットボリュームを供給するよう自動的にIPAPを調整する機能です。
- IPAPMax  
設定したターゲットボリュームを実現する為に、VIVO 40が供給するIPAPの最大値。

## アラーム

- 低圧  
低圧アラームは、呼吸器の圧力が低圧アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。
- 低換気量  
低換気量アラームは、呼吸器の換気量が低換気量アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。
- 低リーク  
低リークアラームは、測定フローが想定リーク流量未満の時に発します。
- 低呼吸回数  
[VIVO 40専用]  
低呼吸回数アラームは、呼吸器の呼吸回数頻度が低呼吸回数アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。
- 高呼吸回数  
[VIVO 40専用]  
高呼吸回数アラームは、呼吸器の呼吸回数頻度が高呼吸回数アラーム限界に達してから15秒経過すると発生します。


## 治療状態とアラーム

治療状態には、治療の状態と呼吸ごとに呼吸器が計算した値が含まれます。

- 一回換気量
- ピーク圧
- 呼吸回数
- 分時換気量
- 吸気時間
- EPAP圧
- IPAP圧
- I:E比
- トリガーの種類
- ピークフロー

### ロック

ロックのアイコンが表示されると、呼吸器のパネルがロックされます。

 フレーム付き操作パネルロックの記号は、PCソフトウェアによるロックためVIVO 30/40のパネルボタンではロックが解除できないことを示します。

### AC電源

ACのアイコンが点灯すると、呼吸器がAC電源供給であることを示します。

### DC電源

DCのアイコンが点灯すると、呼吸器がDC電源供給であることを示します。例えば、Breasの外部EB2電池を使用すると点灯します。

### 内部電池

内部電池のアイコンが点灯すると、呼吸器が内部電池を使用していることを示します。電池の残量は、4段階のアイコンで表示されます。

呼吸器が内部電池を使用しない場合は、電池のアイコンにバツ印が付きます。電池の取り扱いに関する詳細は、臨床医用マニュアルを参照してください。

呼吸器で発生したアラームは、ページ右側上に発生順にアラームパネルに表示されます。アラーム音が発生したら、**オーディオ一時停止**ボタンを押すと止まります。



音響休止

**i** オンラインセッション中にアラームが発生し、リモートコントロールタブを離れると、ダイアログが表示されます。

## グラフ

グラフデータは約20Hzのサンプルレートで取得された値です。グラフパネルには、セッションに次のデータが表示されます。

- 圧力
- 患者フロー
- 換気量
- リーク

プロットパネルの詳細な操作方法は、[2.5 グラフ](#)のセクションをご参照ください。



## リモートコントロールログ

[院内モード専用]

### 11.1 治療

治療セクションでは、オンライン記録で作成されたセッションを表示および分析できます。

#### セッション

セッションフレームには、患者さんの別のセッションが表示されます。1度に選択できるのは1セッションです。セッションウィンドウの詳細な操作方法は、[2.6 セッションパネル](#)をご参考ください。

#### カーソル位置の設定

カーソル位置の設定はカーソルが置かれた場所の設定を表示します。カーソルの詳しい操作方法は、[2.5 グラフ](#)をご参照ください。

**i** 設定の変更方法は、呼吸器のログ結果に記録されます。このとき、実際の時刻と約10秒の遅延が発生します。

#### グラフ

グラフパネルには、オンライン記録セッションの次のデータが表示されます。

- イベント 次のアラームおよびイベントが発生すると表示されます。マスクオフ、高圧アラーム、低圧アラーム、低換気量アラーム、高呼吸回数アラーム、低呼吸回数アラーム
- 圧力 圧力グラフには、呼吸器で測定した圧力の抽出データが表示されます。
- フロー フローグラフには、呼吸器で測定したフローの抽出データが表示されます。リークは、算出した患者さんのフローから減算します。
- 換気量 換気量グラフには、呼吸器で測定した換気量の抽出データが表示されます。
- リーク リークグラフには、呼吸器で測定したリークの抽出データが表示されます。

グラフパネルの詳しい操作方法は、[2.5 グラフ](#)をご参照ください。



## リモートコントロールログ

[院内モード専用]

### 11.2 データサマリー

データサマリーセクションでは、オンライン記録から複数のセッションを選択して表示することができます。

#### セッション

セッションパネルには、患者さんの別のセッションが表示されます。セッションウィンドウの詳細な操作方法は、[2.6 セッションパネル](#)をご参考ください。

#### 記録の概要

このパネルは、**セッションパネル**で選択したセッションの計算値が表示されます。すべての選択したセッションから得る値の平均値が**平均**の欄に表示されます。平均値には選択したセッションの時間が考慮されていないのでバランスされていません。  
値フィールドに「---」が表示される場合は、ログのデータから値が算出できないことを示します。

平均
11.40
4
10
10
0.417
1.14



## リモートコントロールログ

[院内モード専用]

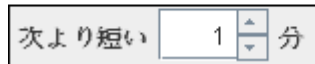
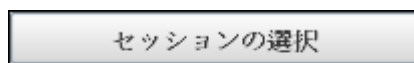
### 11.3 セッションの編集

このページでは、オンライン記録の操作方法について説明します。  
セッションパネルの詳しい操作方法は、[2.6 セッションパネル](#)のセクションをご参照ください。  
セッションのページでは、以下のボタンを使用してセッションを操作します。

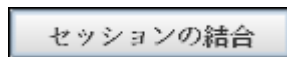
- セッションの削除 選択したセッションを削除します。黄色のフォルダを選択してボタンを押すとログを全部削除します。



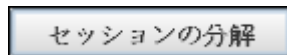
- セッションの選択 最大時間の秒数を整数で選択します。セッションの選択ボタンをクリックすると、最大値より小さいセッションがすべて選択されます。



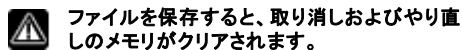
- セッションの結合 時間が隣接した選択した2つ以上のセッションを結合します。結合セッションは青い二重ファイルのアイコンで表示されます。



- セッションの分解 選択した結合セッションを元の長さに分割します。結合セッションを分割すると、前に結合された最初(最上)のセッションがグラフパネルに表示されます。



- 元に戻すと繰り返す 削除、結合、分割されたセッションは、操作の取り消しまたはやり直しが可能です。右側のボタンを使用します。



#### グラフ

グラフパネルには、セッションの次のデータが表示されます。

- イベント
- 圧力

グラフパネルの詳しい操作方法は、[2.5 グラフ](#)をご確認ください。

**BREAS**



Breas Medical AB · Företagsvägen 1, SE-435 33 Mölnlycke, Sweden  
Phone +46 31 86 88 00 · Order +46 31 86 88 20 · Technical Support +46 31 86 88 60  
Fax +46 31 86 88 10 · [www.breas.com](http://www.breas.com)

**CE** 0123